

# 県南思考 Vol.8

## 特集：立ち向かえ風評被害

21,000人による死者、行方不明者数（警察庁発表）、いまなお収束にいたらない福島原発。未曾有の災害となった東日本大震災は、津波など直接的なダメージの少なかった南房総にも風評被害という形でおそれかかりました。漁業、農業はもちろん、大きな被害を受けたのが観光業。3月11日以降、首都圏からの観光客がすっかり姿を消し、県南の観光施設は、ひっそりと静まり返ったままの状態が続きました。南房総にとって観光は重要な産業の柱です。その観光業をもういちど復興させ、南房総に観光客のにぎやかな声を取り戻そうと、さまざまな取り組みが行われています。

### 観光復興プログラム



## 特集：立ち向かえ風評被害

### 結びの対論

木下県議 × 亀田県議

単に観光業だけでなく、農業、漁業と三位一体となつた立て直しこそ必要なのではないでしょか。

木下／亀田 まず、はじめに、今回の東日本大震災で被害にあわれたすべての方々に心からお見舞い申しあげます。

亀田 それにしても、すさまじい地震でした。ちょうど県議会の最終日で採決の真っ最中。議会の耐震化工事が済んだばかりだからよかったですものの、そうでなければどうなっていたかわかりませんね。

木下 最初、震源地は千葉県沖かなと思ったんですよ。なにしろあれだけの揺れでしたからね。ところがニュースで東北の方だと聞いて、これはとんでもないことだと。

亀田 とくに津波の怖さですね。ふだん私たちが親しんでいるおだやかでやさしい海が、一転、キバをむくとこんなに恐ろしいものなのかと驚きました。そう言えば、議員をしていると市民の方からさまざまな情報が入ってくるんですが、先日、津波対策のひとつで、幼稚園やお年寄りの施設にライフジャケットを配布したらというご意見が寄せられました。

木下 それほど津波の恐ろしさと、犠牲者の多さに皆さんが心を痛めているということでしょうね。

亀田 5月に気仙沼を中心に実際に被災地を回ってきたんですが、それまでテレビや雑誌、新聞などの報道で見てきたのとは現実はまったく違う。迫力、と言ったら不謹慎に聞こえてしまうかもしれません、見渡す限りの惨状で。

木下 およそ考えられない陸地の奥にまで津波が押し寄せているようですからね。

亀田 それと鼻を突くにおいですね。魚の腐った異臭とホコリのにおいがひどい。さらに驚いたのは音なんですよ。ふだん街を歩いていると、たとえば子どものはしゃぐ声とか、鳥の啼き声とか、生活の音が耳に入ってくるのですが、一切きこえない。静まり返って、ただひたすらに瓦礫を崩す重機の音だけが聞こえてくる。目と鼻と耳と、まったく異なる世界を体感しました。

### 来春の花の季節を視野に入れて

木下 南房総市では道路に亀裂が入ったくらいで、物理的な被害は少なかったんですが、やはり大きかったのは風評被害で、まず漁業が影響を受けましたね。原発の影響で千葉の魚はあぶないという噂が流れ、東南アジア向けの輸出も止まってしまいました。

亀田 農業についても、県内のホウレン草やお茶などに影響が出ましたね。これから旬を迎える農産物も多いわけですから、関係者ならずとも戦々恐々です。



木下 ただ、漁業の場合は各地でモニタリングを行って、しっかりと検査を済ませ、数値的に安全だということがわかった結果、ここへ来て少しづつ値を戻しつつあります。検査基地を作り、自分たちでとった魚を自分たちで調べ、消費者に安心してもらおうと前向きに取り組んでいる漁業関係者は数多い。県では6月の補正予算で放射性物質分析装置の導入が計上され、これによって海産物、農産物の安全性を消費者にアピールしていく体制が整いつつあります。

亀田 となると、やはり最も大きなダメージを受けているのが観光業ということになりますね。実際、鴨川市内の大きな旅館でも観光客が少ないため、平日に休みをとるところも出たと聞いています。それほど深刻なことになっている。

木下 今回、南房総と鴨川で、ほぼ同時発生的に商品券という形でキャンペーンが展開されて地域ぐるみで取り組んできたわけですが、もしも、何もしなかったら、どれほど落ちこんでいただろうかと思いますね。

亀田 今回の商品券では、単に飲食店やおみやげ屋だけでなく、商工会議所の協力でガソリンスタンドなど、使える範囲を広げたことが効果を上げているようですね。それにしても南房総の場合は、商品券をプレゼントするだけでなく、宿泊料から被災地への義援金が発生するなど奥の深いプランになっている。よくあの短い準備期間で考えたものだと関心しました。

木下 実際、観光客の皆さんにも好評だったようです。

亀田 さきほど漁業について語りましたが、農業、漁業といった第一次産業は南房総の経済の基本です。そこがしっかりとないと、この地震のダメージから再生していくのもむずかしい。その意味で、今回、県議会で我々が「農林水産常任委員会」の委員長と副委員長に就任したことは意味があるはずなんです。観光だけでなく、漁業、農業と三位一体となつた取り組みに、しっかりと力を注いでいかなければならない。大変でしょうが、きっとやりがいも大きいはずです。

木下 それぞれの観光協会でキャンペーンを実施てきて、ようやくこの夏休みに観光客も戻ってきましたが、大切なのは継続性です。これで終わりにしないで、第2、第3のキャンペーンを打ち立てて、首都圏の観光客にアピールしていく姿勢が必要でしょう。

亀田 秋の観光シーズン、さらに年末から春にかけて県南が最もにぎわう花の季節がやって来ます。ここにターゲットを絞って、さらに復興をはかっていきたいですね。



木下 敬二 (きしたけいじ)

南房総市・安房郡選出  
昭和 23 年 5 月 17 日生まれ  
事務所 / 〒295-0005  
南房総市千倉町牧田 164-1  
TEL : 0470-44-4111  
FAX : 0470-44-4112  
<http://kishitakeiji.com/>  
e-mail : [info@kishitakeiji.com](mailto:info@kishitakeiji.com)

県南思考 Vol.8

発行 : 2011 年 8 月 20 日  
制作 : 「県南思考」制作委員会  
編集 : 式守編集工房  
デザイン : 野村友紀  
南の風を県政に、南房総選出の県議による「県南思考」は市民の皆さんとともに、県南のあるべき姿を追い求めていきます。本紙をお読みになった感想、ご要望、その他ご意見は各県議の事務所までお気軽にお寄せください。



亀田 郁夫 (かめだいくお)

鴨川市選出  
昭和 27 年 2 月 16 日生まれ  
事務所 / 〒296-0041  
鴨川市東町 665  
TEL : 04-7099-0190  
FAX : 04-7099-0191  
<http://www.kameda190.com/>  
e-mail : [ikuo-k@leaf.ocn.ne.jp](mailto:ikuo-k@leaf.ocn.ne.jp)

## 観光復興プログラム

多彩なプログラムの連打で  
ようやく戻りつつある観光客の姿。  
秋の観光シーズンへ、アクションは続く。

国道410号線と長狭街道がまじわる交差点近くの「みんなみの里」。南房総を訪れた観光客が必ずといっていいほど訪れる観光スポットですが、レジに並んだ観光客がクーポン券をさしだして買物を楽しんでいます。「泊まった鴨川市内の旅館でももらったんです。キャンペーンのおかげで宿泊代は安くなるし、こうして買物はできるし、得した気分になりますね」と、夏野菜をカゴいっぱいに積んだお客さま。

そんな様子に、「みんなみの里」を運営する事務局長の清水氏は、「当施設は、たっぷりとした駐車スペースはあるし、地物の野菜から特産品のおみやげまで種類がそろい、さらにお食事もできる。クーポン券を使う選択肢が広いので観光客にお寄りいただくことが多いようです」と、その効果を語ります。



「みんなみの里」の店頭を飾るノボリをはさんで(左から)鴨川市農林業体験交流会の清水宏事務局長と木下県議、亀田県議

### 鴨川市の「元気! 鴨川安心キャンペーン」

3月11日、東日本をおそった大地震。あいつぐ余震、ガソリン不足、自肃ムード。また、津波に対する警戒心から、海沿いの南房総では首都圏の観光客が激減し、各地の宿泊施設をキャンセルの波がおそいました。

ふだん家族づれでにぎわうレストラン、飲食店はガラガラ。大型の観光バスが連ら



魚拓荘鈴木屋のフロントに立つ鈴木健史さん。宿泊客に対する親切な地域ガイドによってリピート客を増やしている

なって団体客であふれかえっていたみやげものの店の駐車場も乗用車が1台、2台というあります。

なんとかしなければならない。

そこで、鴨川市で導入されたのが「元気! 鴨川安心キャンペーン」でした。

鴨川市内に宿泊した方ひとりひとりに5,000円分の商品券をプレゼント。3,000円分を宿泊代の割引にあて、残りの2,000円を使って、市内の加盟店でお買い物を楽しんでいただこうというものです。

加盟店は、店頭の目立つ場所にブルーのフラッグを掲げて「どうぞ、ご利用下さい」と観光客にアピール。また街角の随所にノボリを立てるなど、街ぐるみで観光客を歓迎しました。

その結果、用意された3万人分の商品券をほぼ配布完了するほどの勢いで、人気回復に一定の成果をあげたのです。

### 南房総市の「南房総あったかハートプロジェクト」

一方、地震による観光客の減少という意味では南房総も大きな打撃を受けました。

本格的な体育館を備え、おもに学生の運動部合宿で利用されることの多い民宿「かわな館」の川名さんは、「ふだんなら60名、70名といった規模の団

体予約が何組も入っていたのが、地震以降はすべてキャンセル。予約ノートがまったくゼロになってしまって頭の中が真っ白になりましたね」と、春先をふりかえります。

市内のホテル、旅館、民宿、ペンションで軒なみ続いた予約キャンセル。

そうした非常事態に、南房総市では「南房総あったかハートプロジェクト」をスタートさせ、プロジェクトに加盟した宿泊施設の利用者に対し、市内で自由に買える2,000円分の商品券をプレゼントするプランを実施しました。

ユニークなのは、宿泊料の一部や利用した商品券の換金手数料が義援金として被災地へ送られるシステムを導入したこと。

また、チェックアウトの際に被災地に送るメッセージカードを書いてもらい、主なものはプロジェクト独自のホームページで紹介するなど、南房総の観光復興と同時に、被災地をみんなで助けあおうという心が込



敷地内に本格的な体育館を備えた民宿「かわな館」の川名敏行さん

められた、まさに「あったかハート」なシステムになっています。

参加加盟店には黄色のフラッグが掲げられ、その数とバリエーションの豊かさも、「南房総あったかハートプロジェクト」の魅力のひとつ。

「とにかく皆さんに、これまでと同じように南房総へ来ていただきたい。だから、キャンペーン突入と同時に当館のホームページで告知したり、顧客にダイレクトメールを送って案内を出したり、必死でアピールしましたね」

そう語る魚拓荘・鈴木屋の鈴木さんのように、関係者が一丸となってプロジェクトを推進したのです。

鴨川市と南房総市。それぞれの観光協会が展開させたキャンペーンは、プログラムの内容や規模こそ異なりますが、思いはひとつ。その目的は、笑顔をうかべた観光客であふれる南房総の復興。

秋の観光シーズンに向けて、さらなるアクションが続いているです。



●みんなみの里  
〒296-0112 千葉県鴨川市宮山 1696  
04-7099-8055  
http://www.minnami.com/  
営業時間 9:00～18:00 (11～1月は 17:00まで)  
農産物直売所／郷土料理レストラン／物産棧／足湯／体験教室  
(陶芸、クラフト、草木染め、ガラス工芸、豆腐作り、その他)などを備えた地域の交流ターミナル

## Pin Point

### インタビュー

## 観光協会におたずねします。

鴨川市観光協会 / 南房総市観光協会

観光の復興をはかるために、独自のキャンペーンを展開してきた鴨川市と南房総市。それぞれの観光協会の会長にプログラムの背景や、今後の計画などをうかがいました。

東日本大震災以降、観光客の落ちこみは相当深刻だったと聞いています。

宿泊客、観光客の減少という意味では、残念ながら、いまだ「現在進行形」です。ゴールデンウイークから夏休みにかけて、ようやく復興の兆しが見えてきたと思っていたら、先日、三浦半島の断層群で地震発生の可能性が高まったというニュースが報道され、そのとたん、ピタリとまた予約が止まってしまいました。学校関係の教育旅行も依然として動きがありません。テレビのニュースショーなどで、「余震が続き、こんどは房総沖があぶない」など平気な顔でコメントーターが発言しているのを見ましたが、我々にとっては死活問題。まさに風評被害の最たるものですね。

集客増を狙ったキャンペーンの展開。すいぶん早いスタートでしたが。

南房総市の「南房総あったかハートプロジェクト」は4月28日、鴨川市の「元気! 鴨川あんしんキャンペーン」は5月14日にスタートしました。通常、これだけの規模のキャンペーンとなると、企画から準備期間を経



観光復興への道を語りあう(左から)木下県議、亀田県議、鴨川市観光協会/加藤和夫会長、南房総市観光協会/井野宏一会長

ト面での充実をはかっていく予定です。南房総ではスポーツの秋にちなんで市内にある公共施設を無料で開放したり、また食欲の秋なので豊富な海の幸、山の幸をアピールするプランを検討中です。今後は鴨川、南房総に、館山、鋸南を加え、南房総エリアの観光協会がひとつになった、ダイナミックな展開を実現させ首都圏の観光客に訴えていきたいと考えています。

### 両観光協会の取り組み

	鴨川市	南房総市
名 称	元気! 鴨川あんしんキャンペーン	南房総あったかハートプロジェクト
期 間	5月14日～8月31日	4月28日～8月31日
プロ グラム (宿泊客対象)	(5/14～7/31) 1人5000円分の商品券をプレゼント (3000円は宿泊代、 2000円は買物) 対象人数は3万5千名	①2000円分の商品券をプレゼント 対象人数は5万5千名
	(7/23～8/31) シーワールド半額、 その他のサービス	②宿泊料金に応じて 1人500円～1000円を 義援金として拋出
	(8/1～8/31) 1人1000円分の商品券を プレゼント	③チェックアウト時に 被災地への思いなどをカードに書いて もらいWEBで公開
参 加宿泊施設	74施設	200施設
参 加 店舗	230店舗	215店舗
フ ラ ン	ブルー	イエロー